

2015年度 第6回学際的脂質創生研究部会講演会

主催：日本生物工学会学際的脂質創生研究部会

共催：日本生物工学会西日本支部

日本生物工学会学際的脂質創生研究部会（代表：京都大学・小川 順 教授）は、脂質関連分野を中心とした研究者の方々のお役に立てる講演会を目指して活動してきております。本年度の第6回学際的脂質創生研究部会講演会は、2016年1月22日(金)、徳島大学(常三島キャンパス)で開催します。本講演会は、脂質工学分野において第一線でご活躍されております先生方にご講演いただきます。また、一般研究発表および懇話会も企画しています。ご多用中とは存じますが、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

日時 2016年1月22日(金) 13:00～ (受付開始：12:30)

場所 講演会：徳島大学 常三島キャンパス内 工業会館 2階 メモリアルホール
(〒770-8506 徳島市南常三島町2-1、<http://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/ourhall/>)

懇話会：常三島キャンパス内 第1食堂 2階

*会場への交通アクセス・キャンパスマップは本案内状の3,4ページをご覧ください。

プログラム

13:00 開会の辞

<招待講演>

13:05 脂質ラフトにおける抗酸化物質の分布と機能

(徳島大学大学院医歯薬学研究部食品機能学分野) 寺尾 純二

脂質ラフトとは、スフィンゴ脂質とコレステロールに富む細胞膜上のドメインであり、膜たんぱく質を集積することにより細胞内シグナル伝達のプラットフォームとして機能する。したがって、脂質ラフトにおける脂溶性抗酸化物質の局在性と機能発現機構に関心が持たれるが、不明な点が多い。本講演は、脂質ラフトにおける酸化コレステロール生成とビタミンE・カロテノイドの局在性との関連性、および脂質ラフトとカベオリンで構成されるカベオラの血管内皮機能に対するポリフェノールの作用に関する研究を紹介する。

13:35 表皮肥厚性疾患を調節する新しい脂質メカニズムの発見

(徳島大学生物資源産業学部) 山本 圭

皮膚の病態生理を考える上で脂質は非常に重要な要素である。脂質代謝の破綻は皮膚病態と密接に関連することが予想されるが、皮膚の恒常性維持および病態における脂質ネットワークの役割は十分に理解されていない。本講演では膜リン脂質を加水分解して脂肪酸とリン脂質を産生するホスホリパーゼA₂分子群の遺伝子改変マウスから解き明かされた表皮肥厚性疾患の新規脂質代謝メカニズムについて最新の情報を紹介したい。

(14:05 休憩)

14:15 免疫制御における腸内環境の影響と免疫創薬、機能性食品、ワクチンへの展開

(国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所) 國澤 純

腸管には生体内の免疫細胞の半分以上が存在しており、生体内の免疫バランスの制御を通じて、健康維持に大きく貢献している。これまでの研究から、腸管免疫の制御においては、生体内因子だけではなく食事や腸内細菌といった腸内環境因子が関わっていることが示されている。本講演では食事性脂質を中心とした腸内環境因子を介した腸管免疫の制御と機能性食品やワクチンの開発、創薬などの展開について紹介したい。

14:45 微生物機能を活用した機能性脂質生産とその生理機能について

(京都大学大学院農学研究科) 岸野 重信

嫌気性細菌は、好気性細菌とは異なる大変興味深い脂肪酸代謝を有している。本講演では、腸内細菌の代表格でもあり、プロバイオティクスなど産業的にも利用価値の高い乳酸菌の不飽和脂肪酸飽和化代謝を中心に紹介する。本代謝は、複数の酵素が関与する大変複雑な代謝であり、様々な代謝中間体が存在する。そこで、本代謝に関連する酵素等を用いて多種多様な代謝中間体を生産し、得られた代謝中間体について生理機能を評価したので合わせて紹介する。

(15:15 休憩)

15:30 一般講演 (時間の目安：交代 0.5 分、講演 9 分、質疑応答 2.5 分)

長鎖モノエン脂肪酸を含む魚油による抗動脈硬化作用

(¹徳大院・医歯薬・代謝栄養、²日水・中央研、³徳大院・医歯薬・循環器内科)

○板東正浩¹、竹尾仁良²、福田大受³、宮原裕子²、Zhi-Hong Yang²、西本幸子¹、植田知瑠¹、齋藤沙緒理¹、川上真智子¹、佐野周平¹、佐田政隆³、阪上浩¹

HDL 機能測定の現状と課題

(国立循環器病研究センター研究所) 小倉正恒

酵素によるホスファチジル-β-1-グルコースの合成

(名大院・生命農学) ○井上ありさ、安立昌篤、ダムニャノビッチ ヤスミナ、中野秀雄、岩崎雄吾

高濃度塩の添加によるホスファチジルイノシトール酵素合成の効率化

(名大院・生命農学) ○村木美智子、ダムニャノビッチ ヤスミナ、中野秀雄、岩崎雄吾

新規アミノキシダーゼとホスホリパーゼ D を用いたエタノールアミン型リン脂質の定量

(¹福島大院・理工、²旭化成ファーマ、³帝京大学・医)

長南圭介¹、酒瀬川信一²、前場良太³、松本英之²、○杉森大助¹

麹菌 *Aspergillus oryzae* の代謝改変による遊離脂肪酸の生産性向上

(産総研生物プロセス) 玉野孝一

グリセロールを利用した微生物油脂生産

(徳大・工・生物工) ○亀川優一、栗田千波、阪本鷹行、櫻谷英治

油脂生産性糸状菌 *Mortierella alpina* によるオメガ3脂肪酸の生産

(¹京大・生理化学、²京大院・農・応用生命、³徳島大・ソシオ)

○安藤晃規^{1,2}、奥田知生²、櫻谷英治³、小川順^{1,2}

油脂生産性糸状菌 *Mortierella alpina* の代謝改変による希少脂肪酸生産

(¹京大院農・応用生命、²徳島大院・ソシオ、³京大・生理化学)

○菊川寛史¹、櫻谷英治²、安藤晃規^{1,3}、小川順^{1,3}

17:30 閉会の辞

18:00 懇話会

参加費 参加費 2,000 円 (非課税)、懇話会費 4,000 円 (税込) (いずれも学生無料)

定員 100 名 (先着順)

申込方法 E-mail または FAX にて、住所、氏名、所属、メールアドレス等を明記の上、下記宛に。懇話会参加の有無も必ずご記載ください。

申込先 〒536-8553 大阪市城東区森ノ宮 1-6-50

地方独立行政法人大阪市立工業研究所 生物・生活材料研究部 永尾寿浩

TEL: 06-6963-8073, FAX: 06-6963-8079, E-mail: nagao@omtri.or.jp

※お申込み頂いたお名前等の個人情報、参加確認及び今後の講演会ご案内以外の目的には使用いたしません。

<交通アクセス>



会場はこちら
です。

<キャンパスマップ>



講演会場

懇話会場

<徳島駅からのアクセス>

- ・徒歩の場合 20分 (1.5 km程度)



- ・バス利用の場合 20分

徳島駅前より徳島市営バス「島田石橋」行、「商業高校」行 他に乗車し、「助任橋」又は「徳島大学前」又は「徳島大学南」下車徒歩5分

